

図書館でのマナー

長かった夏休みも終わり、キャンパスには活気が戻ってきました。皆さんはいかが過ごされましたでしょうか。休み中はエアコンが効いた閲覧室で、勉強や読書に熱中している方も見受けられました。

さて、図書館を利用する際には、守っていただきたいマナーがあります。図書館は大勢の人が利用するので、「自分だけ良ければいい」という考え方では他の利用者に迷惑が掛かってしまいます。以下はどれも今さらの感があるでしょうが、気が付いた点を挙げてみました。他の人が不快な思いをしないように意識して、図書館をいつも快適に利用していただきたいと願っています。

1. 私語

若い世代では私語という言葉は、既に死語になっているかも知れませんね。ヒソヒソ話をしているつもりでも、静かな閲覧室では意外とよく聞こえてしまうものです。私語は喋っている本人達が、他人の迷惑になっている事に気が付かないのが問題です。

2. 飲食

さすがに閲覧室で弁当を広げる人はいませんが、暑い時期にはペットボトルを机に置く人を見掛ける事があります。万一倒れて本やノートが濡れたらと考えて、カバンに入れておいて下さい。

3. 本を戻す場所

閲覧室でも書庫でも同じですが、棚から本を取り出して元に戻す際に、誤って別の場所に入れてしまうケースがあります。この場合、ほんの僅かなズレであれば大した問題にはなりません、全く違う場所に入れてしまうと、それを探し出すのは至難の業になります。戻す場所をはっきり覚えていなければ、迷わず返却台に置くか職員に手渡して下さい。

4. 本の予約

読みたいと思った本を借りようとしたら、貸し出し中という事があります。その際は予約登録をしておけば、その本が返却されたら優先的に利用出来るようになっていきます。ただ、せっかく予約したのに、返却された旨の連絡を差し上げても、予約者がなかなか来館されない場合があります。予約本は他にも読みたい人がいる場合があります。予約した本が返却された旨の連絡が届いたら、速やかに来館して下さい。

5. 付録のCD等

検定対策本などに付録でCDが付いている場合があります。これは自宅で利用していただいて構いませんが、本を返却する際には忘れずにCDも付けて下さい。

6. 蔵書検索端末の利用が終わったら

検索が終わったら「蔵書画面」に戻って、「検索値クリア」をしておいて下さい。他のデータベース端末でも同様です。次に使う人へのちょっとした心遣いが大切ではないでしょうか。

ふじい たつや (司書・係長・アジア関係図書館)